活性化だより

手良から頂点へ!!
女子実業団ソフトボールで輝く!!

『実業団ソフトボールで輝く「桃花さん・琴葉さん」を応援しよう!』

現在、女子ソフトボールの最高峰「JD・LEAGUE(JDリーグ)」で、手良出身の二人の若きスターが目覚ましい活躍を見せています。地域の宝であるお二人の今シーズンの軌跡と、熱いメッセージをご紹介します。

『日本一のキャッチャーへ!
主要打撃部門でリーグトップクラスの活躍』

○池上 桃花 さん
(いけがみ ももか)

【所属チーム】
豊田自動織機シャイニングベガ

【プロフィール】
2004年生まれ。神村学園高等部伊賀を経て入社。背番号8、捕手。

【今シーズンの実績】
全日本総合女子ソフトボール選手権(皇后杯):優勝(日本一!)
JDリーグ 西地区:2位(ダイヤモンドシリーズ進出)

【個人成績】
西地区 打点2位、打率6位、ホームラン10位と驚異的な勝負強さを発揮。

【桃花さんから一言】
「今シーズンは皇后杯で優勝し、日本一になれましたが、リーグでは優勝出来なかったので、来年こそ皇后杯もリーグでも優勝し、日本一になれるように頑張ります!」

『進化を続ける若き右腕
強豪相手にベスト8進出と二刀流の挑戦』

○向山 琴葉 さん
(むかいやま ことは)

【所属チーム】
太陽誘電ソルフィーユ

【プロフィール】
2005年生まれ。山梨学院高校を経て入社。背番号16、投手。

【今シーズンの実績】
JDリーグ 東地区:7位(9勝19敗1分)
全日本総合女子ソフトボール選手権(皇后杯):ベスト8

【個人成績】
投手として今季2勝、防御率2.18と安定。打者としても打席に立つなど、二刀流での成長が期待されています。

【琴葉さんから一言】
「思うような結果が出ず、悔しいシーズンとなりました。来シーズンは、投手としても打者としてもさらなる成長を目指して頑張っていきたいと思います。」

『地域の力でエールを!』

3年後の2028年には、伊那市・上伊那全域が「長野国体(信州やまなみ国スポ)」のソフトボール会場となります。

私たちの街から羽ばたいたスターが、地元・長野の舞台で躍動する日に期待し応援しましょう。

『手良の里ホームページで応援しよう!』

ホームページでは、この記事のほか、二人のさらなる活躍を随時紹介していく予定です。地域の皆様、温かいご声援をよろしくお願いいたします!

※本記事は「手良の里ホームページ」への掲載許可をいただいています。ぜひWebサイトでもお二人の活躍をチェックしてください!

発行
手良地区活性化促進会議

手良地区人口
世帯数 819戸
人口 1,982人
男性 985人
女性 997人
令和8年1月1日現在

田舎暮らしサポート委員会

『全戸アンケート実施をうけて』

去る9月末から10月にかけて手良地区の皆さまに全戸アンケートを実施しました。今回二百六十五件と多くの回答が得られ、まずご回答いただきました皆様に感謝申し上げます。

今回のアンケートはお住まいの住宅土地のお困り事、空き家空き土地の掘り起こしを目的としており、地区の皆さまが抱える課題を把握することが出来ました。

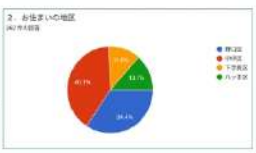
お住まいのお困り事では地区により濃淡はあるものの、「後継者がおらず自己管理している物件の今後が心配」「所有している田畑の管理が大変」などの回答が多く得られました。

また、空き家空き土地に関する情報も多く寄せられており、今後各地区のサポート委員会メンバーが状況のヒアリングにお伺いする予定となっております。メンバーよりお声掛けがあった際は、ぜひご協力いただけますと幸いです。場合によっては市役所の窓口を紹介する架け橋にもなりますので安心してご相談ください。

質問項目には「手良でPRしたいこと」という問いもありました。「景観が良い」、「災害が少ない」などのポジティブな意見がある一方、「特になし、思いつない」という意見も同程度ありました。手良の人口対策としてUターンIターンを進める中で、手良地区の皆さまに一つでも手良の良さを知っていただく活動がより重要になる、と考えさせられる結果となりました。

サポート委員会では今回得られた回答をもとに今後の活動方針などを決めてまいります。今後も引き続き空き家空き土地の情報がございましたら手良支所やサポート委員会メンバーまでご一報ください。またサポート委員会へ参画されたい方もご連絡ください。共に手良の未来を考えていきましょう。

田舎暮らしサポート委員会
委員長 江連 英



エリース エコ・ライフ・ショップ
くらしのメーカー
キクヤ電器
伊那市上新田 2686-1
☎0265-72-7251

手良坂広場「第一回物産展」開催!!

『手良地区初の「手良物産展」開催へ!』

手良地区の魅力を他地区へ発信したい!企画委員会ではそんな想いで手良地区初となる物産展を11月3日(文化の日)に開催しました。

今年度は備蓄米の販売やお米の高騰など何かと「お米」に関する話題が尽きない年でした。手良地区にはコレ!っという名産品はありませんが、お米はたくさんの農家さんが作っており、それに手良のお米はとても美味しいです。お米を販売すれば絶対に話題になる!手良地区の新米販売を中心とした「手良物産展新米フェア2025」を開催する事になりました。

11月3日(文化の日)あいにくの小雨での初開催になりましたが、販売開始の1時間前には記念すべき1人目のお客様がお越しいただき、8時の販売開始には大勢のお客様が並んで様々な農産物を購入してくれました。

8時~10時までの短い販売時間でしたが、用意した農産品はだいたい売り切る事ができ、売上総額は489,700円でした。新米はもちろん人気でしたが、りんごや手作り味噌も人気が高く早い段階で売り切れてしまったので、来年度は新米以外にも名産品になりうる農産品をさらに発掘していきたいです。

初の開催という事もあり、多くのメディアの方々も物産展を記事にしてくださり、なかでもTBのさんが取材にきてくれて、地上波に手良地区が放送された事は大きな反響を呼びました。関連したネットニュースなどで物産展の開催を知った人も多いのではないでしょうか?

自然豊かな農村地域の手良地区にはこれといった名所はありません、けれど手良地区には四方を山脈に囲まれた絶景と豊かな大地で育った農産品があります!物産展を通して来年度以降も手良地区の魅力を発信していきたいと思います。

企画委員会

イーナちゃん駅伝カーニバル

『イーナちゃん駅伝カーニバルに手良の子どもたちが出場!』

10月13日(月)に開催された「イーナちゃん駅伝カーニバル」に、手良からは子どもの部に「チーム手良」と「チームてらとぴあ」の2チームが出場しました。

9月6日には団結式を行い、手良小学校の校庭や陸上競技場で練習を重ねて本番に臨みました。

子どもの部は、全長2.7kmを保育園児、小学校低学年男女、小学校高学年男女の5人がタスキでつなぐリレー形式。

それぞれの選手が全力を尽くして走り抜け、「チームてらとぴあ」は2位、「チーム手良」は7位と、どちらも見事な走りを見せました。

沿道からはたくさんの声援が送られ、子どもたちは笑顔と達成感いっぱいの表情でゴール!

監督、コーチ、役員の皆さんのサポートのもと、手良チームとしての団結を感じる大会となりました。

蟹沢八十八観音

『伊那市手良野口蟹沢の八十八観音』

1.この石仏が生まれた「ねがい」

このたくさんの石仏が作られたのは、今からおよそ180年ほど前の江戸時代です。当時の日本は、天保の大飢饉という、食べ物がなくなってたくさんの人が苦しんだ、とてもつらい時代を経験した後でした。

人々の切実な願い「二度とあのような飢えや病気に苦しみませんように」「亡くなった人たちが安らかに眠れますように」。このような切実な願いを込めて、この手良の村の人たちが協力し合い、力を合わせてこの八十八観音を造り上げたのです。これは、村の人たちの命への願いと深い信仰心のしるしなのです。

2.「四国遍路」がここにある理由

ここは、遠い四国にある八十八ヶ所のお寺をまわる旅、「お遍路」を、この場所だけでできるようにした巡拝塔です。

実は、この石仏の一つひとつの下には、本物の四国八十八ヶ所のお寺から分けてもらった、その番号の場所の「お砂」が埋められています。そのため、遠くてお金や時間がかかり、行くことができない村人でも、ここをまわって手を合わせれば、実際に四国を旅したのと同じ、ありがたいご利益を積むことができると信じられました。

3.石仏を彫った職人たちの技

この石仏は、伊那谷で活躍した高遠石工という、石を彫る名人たちが、心を込めて作りました。よく見ると、薬壺を持って病気を治してくれる「薬師如来」や、たくさんの顔で私たちを見守ってくれる「十一面観音」など色々な仏様の顔があります。石工さんのノミの跡がそのまま残っていて、昔の人の力強さと高い技術が伝わってきますね。

この八十八観音は、ただ古い石仏が並んでいる場所ではありません。昔の人たちの「生きるための願い」と「助け合う心」が、石の形になって今も私たちを見守ってくれている場所なのです。

しめ縄作り講座

『新年に向けて~しめ縄作り講座を開催~』

12月7日(日)、下手良公民館の主催による「しめ縄作り講座」が同館で開催されました。当日は22名の参加者が集まり、講師の有賀さんの指導のもと、新しい年を迎えるためのしめ縄作りに挑戦しました。作業が始まると、慣れない手つきで藁をなう工程に苦戦する姿も見られましたが、コツを掴むにつれてみるみる上達。時間が経つごとに、見本のような立派なしめ縄が次々と完成していきました。

昨今は見栄えの良いしめ縄を手軽に購入することもできますが、手作りならではの「わが家の味」があるしめ縄で新年を迎えるのは、非常に趣深いものです。約2時間の作業で完成できるこの講座。伝統を次世代へつなぐためにも、ぜひ今後も継続してほしいと感じるひとときとなりました。

手良消防団

『手良地区を守るために一緒に消防活動をしていきませんか』

消防団員募集中!!

現在、消防団では地域の安心、安全を守っていくために一緒に活動してくれる消防団員を募集しています。

消防団の活動内容は以前のポンプ操法大会を重視した活動から、自然災害時の対応力向上、災害予防の啓発活動など地域に密着した「自分たちの地域(手良地区)は自分たちで守る」という理念のもとの消防活動に変わりつつあります。

男性消防団員に限らず、女性消防団員、喇叭隊員も随時募集しています。

女性団員には火災予防啓発を目的とした広報、地域防災の要としての活動を期待していますのでお気軽に消防団にお問い合わせください。

手良地区ホームページ

活性化インスタグラム